

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 ウッドスペース

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・企業理念、ビジョン、ミッションを従業員交えて半年かけて構築し、新たな行動指針を作成し全体に共有している。								8	9								17					
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守はビジョンの中にとっており、毎日の朝礼、ミーティングで読み合わせを行い、従業員への啓発を行っている。																16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不公正な競争はひいては従業員の負担につながることであり、あえて断る勇気を持つよう周知している。仕入れなどは役員が常にチェックし、仕入れ先にも周知している。														10			16					
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・役員自ら先頭に立って企業活動が及ぼす社会、環境への影響を把握し社員に共有している。																		16				
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・毎日のミーティングのテーマに、知的財産を取り上げ月一回程度研修を行っている。								8.2	9													
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護法に基づき、各種提出書類には同意書を交わし、パソコンにはクラウド版情報漏洩ソフトをインストールし、常に情報漏洩防止に努めている。																		16				
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・毎月行われる取引先の業者会がオンライン会議となり、全社員の参加が可能となった。そこで上がってくる苦情などの問題点を共有している。																	16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・元請ハウスメーカー主催で毎月行われるパートナーWebミーティングに参加し、対象のサプライチェーンにはどのようなプレイヤーが存在し、プレイヤーの間で、現状どのような社会課題があるのか、自社が、社会課題解決に貢献できることは何なのかを検証し、サプライチェーン上の他社と情報共有を進めている。					5				8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9				11		13.1		16	17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・外部コーディネーターを取り入れ現在の常務(息子)と後継者に、指導、育成を行っている。									8	9										17		
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2														12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・ハラスメント防止について就業規則に定めている。 ・相談窓口機能を公開し相談しやすくしている。 ・毎日のミーティングのテーマに、ハラスメント防止を取り入れオンライン研修ビデオを用いて、月一回程度研修を行っている。				4.3	5.1			8.5			10.2							16.1	16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・意識や行動を促すこと、安心して業務に行動できる職場を確保するために研修会に参加させ、行動指針を掲示したり啓発活動を行っている。 ・毎日のミーティングのテーマに、安全を取り入れオンライン研修ビデオを用いて、月一回程度研修を行っている。			3					8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・パート社員にも交通費を支給するなど公正な待遇に努めている。 ・ミーティングの中で、公正な待遇をテーマに同一賃金ガイドラインの読み合わせなどで理解を深めている。					5.5				8.5		10.2		10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・熊本県の「よかボス企業」に登録し当社の方針を従業員に周知し情報提供を行っている。 ・タイムカードを導入しサービス残業の撲滅とオンオフの徹底をしている。			3		5.5				8.5		10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・技能士試験の情報を共有し、受験費用は会社が負担し資格取得と能力開発に力を入れている。				4	5.5				8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎日の朝礼ではラジオ体操で開始し健康維持に努め、その後労働災害や交通事故への注意喚起で安全意識を高めている。 ・毎年の健康診断には協会けんぽを活用し経費補助を行っている。			3						8											17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障がい者就労継続支援A型事業所と提携を結び、障がい者を率先して受入れ、活躍するために生産ラインの整備やコミュニケーション力向上に努めている。				4.4	5.1	5.5			8.5		10.2	10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・社内ミーティングをウェブ会議で行っており、今後多用していくように計画している。			3						8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・社員全員にITツールを携帯させ、工程クラウド版を導入。業務情報のオンライン化による業務効率化を図っている。										8	9.1		11	12								

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 ウッドスペース

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4					8	9									12									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 ウッドスペース

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物の中の有害物質を把握し、廃棄物取り業者の指導を頂き、適切な処理に努めている。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・無駄な機械の稼働を無くし、簡易計算シートを活用し常に節電を促している。 ・工程をクラウド化することで、移動や車両運搬を効率化させ簡易計算シートを活用しエネルギー削減に努めている。							7.3					13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを活用し、木材端材の焼却処分経費を常に把握し、再利用可能な技術を開発。新素材として活用している。 ・簡易計算シートを活用し、端材を使った新商品の開発を行っている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・当社企業理念に基づき、脱プラを自ら実践し社会に伝えている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ITを活用してペーパーレス化は進んでいる。クラウド化による情報の共有を開始し更なるリデュースに努めている。 ・木材端材の焼却処分経費を常に把握し、再利用可能な技術を開発。新素材として活用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・水源かん養地を実地見学し、私たちの事業との関係や重要性を学んでいる。 ・節水の張り紙を掲示したり、常に節水を呼びかけている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙を使っている。 ・【予定】グリーン購入ネットワークへ2022年5月までに加入し、環境物品等の調達を推進し需要の転換に取り組む。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 ウッドスペース

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																										
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・業界団体の安全性の研修会などを通して情報を共有し、事業所の品質確保に取り入れている。			3.9					9			12.4										
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・私たちの事業は、ユニバーサルデザイン化に向けての改修工事の受注が多く、アドバイスする立場にある。その実績を通して障がい者、高齢者、誰もが安心して就業しやすい環境の整備に取り組んでいる。								9.1	10	11.7									17		
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・「くまもと県産木材アドバイザー」の認定を受け、熊本県産木材の利用促進に努めている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・くまもと県産木材アドバイザーとしてお客様に木の良さを伝え、Webページでも発信している。							7					12.2	13.1		15						
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・天然の木材は、他の人工素材に比べウイルス等の抗菌作用が高いことや、木の香りのリラックス効果によるストレス軽減の特性があり、このことを活かした新製品の開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・熊本県に多数自生している「センダンの木」の早期成長と木質の良さ注目し、仕入れを増やし製品化させ需要を増やしている。		2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地元校区の活動に参画し、率先して役員を引き受け貢献している。従業員にも自治活動への取り組みを勧めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・社内にハザードマップを掲示し避難経路を周知している。				4							11.5		13.1				16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・玉名市の消防団協力事業所として登録し、災害時には車両や薪の提供、待機所として開放などの協力できる旨を示している。 ・地元消防団に所属している従業員(2名)は勤務中の災害発生の際は出勤を優先させる旨周知しており、未加入の従業員には入団を勧めている。 ・社長と常務が地元校区自主防災会の役員を務め、毎年実施される防災訓練に参加している。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsは当社企業理念そのものであることを社内共有し、社員が誇れる仕事として意識向上に努めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・中学生の職場体験を毎年受け入れている。コロナの影響で中止されているが再開すればまた受け入れる。				4				8.6		10.2									17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・ふるさとくまもと創造人材奨学金返還等サポート 支援候補者認定を受け若者の地元就職を促進している。				4.4				8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15					17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。